



水野 昇 議員

**質問** 市民の皆様に使っていただいて36年を顧みられた時、将来の常総市の展望は鬼怒川ふれあい道路を活用した発展を目指す

水野議員の質問動画



議員

私が町、市とお世話になった36年はあっという間の年月だったと思ひ出す。「郷土に夢と生きがい」ということを皆さんとお約束してきたことを忘れず守ってきた思いがある。最後の報告の場として登壇させていただいた。

まちづくりを転換させるとか新たなまちづくりなどは、そう簡単にはできないと思っている。この36年で石下地区だけでも51社企業誘致してきた。常総市は今ほとんど発展を遂げている。これから大きな課題もある中で市長として、また皆の支持を得るにはしっかりとした信念をもってやっていただきたいと思うが、道の駅やその後の事業展開、そういったものもしっかりとやってもらいたいと思ひがある。常総市の将来について、今アグリサイエンスバレーなど大きな事業で皆さんの税金を使っている。だからそれを間違いないようにやってもらいたい。これを市長にお願いする。

市長

9期36年にわたった議員生活

本当にお疲れ様でした。鬼怒川西部の高崎坂東線の開通に際して多くの地権者の一人ひとりに説得を重ねていただいたこと改めて感謝を申し上げます。

高崎坂東線から大生郷工業団地を抜け、そして豊岡町の国道354号まで突き抜け、現在今つながっている西幹線道路、坂手工業団地から内守谷工業団地まで抜くことが、残された使命でありしっかりと果していきたいと思っている。そして、この鬼怒川ふれあい道路が完成された暁には先にある石下の工業団地まで一本の産業道路としてつなぐことができる。

さらには、アグリサイエンスバレー、そして新産業団地こういつた部分で雇用が大きく必要になり働く場所も増えてくる。周りからも多くの人々が来てもらわなくては雇用を支えられないと考えている。しっかりと雇用対策、また住宅対策をしていき、税収を確保しながら市民サービスの充実を図っていきたいと考えている。

# 令和5年2月

## 随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第50号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第9号）	補正予算の増額 5,555万9,000円 補正予算後の総額 269億7,542万4,000円	可決

